



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



伝えたい島の民話 動物編

VOL.160

もくじ

P1 洲本八狸物語 P2 室津の民話 P3 東浦の民話 P4 白芝山の絵馬・淡路市市民協働センター P5 松本英子さん・イーブン淡路 P6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

芝居の神様

しばえもん
柴右衛門



日本三名狸の一匹にも数えられ。洲本八狸の頭領です。芝居の神様として洲本だけではなく、大阪の中座でも祀られています。



病期平癒の神様

しばすけ
柴助

柴右衛門の長男
子どものころからいたずら好きでしたが、修行の旅で全国をまわり立派に跡を継ぎました。

洲本八狸物語

その昔、三熊山に住む芝居好きの狸、柴右衛門が毎日のように人間に化けて大阪の道頓堀まで大好きな芝居見物に出かけていました。見物料はもちろん木の葉を化かしてです。そんなある日、とうとう変身がばれて犬に捕まってしまうました。

この柴右衛門狸の仲間がそろって「洲本八狸」として親しまれていますが、それぞれの狸を紹介します。

商売繁盛の神様

お増

柴右衛門の女房



木の葉のお金で買い物に行きましたが、化かされたお店は繁盛したそうです。



柴助



防犯の神様

ぶざえもん
武左衛門

毎日夜更けに町の見廻りをして戸締りの悪い家を懲らしめていました。

諸願成就の神様

ますえもん
枅右衛門

お酒が大好きな狸ですが、夜の町に出て住民の安全を守っていました。

土木・農業の神様
がたろう
川太郎
洲本の関所を守り、川をきれいにして川土手の点検などをしていました。

金融の神様

たくざえもん
宅左衛門

洲本八狸の長老で、狸たちが困った時にお互いが助け合う組織を作りました。

美人の神様

お松

柴右衛門の娘
とても美人として有名で若い狸に人気がありました。



「洲本八狸」の可愛い石像が洲本の街中にあります。「洲本八狸クイズラリー」など、狸を探しながら歩いて廻ってみてはいかがでしょうか。 応援隊：田処 吾久
問い合わせ先 洲本市街地活性化センター八狸委員会 ☎ 0799-22-2571(平日のみ)



～ふるさとを知り、愛する、室津の子どもたち～ 民話の紙芝居、手作りのカルタを制作 淡路市室津の民話

淡路市室津は、たぬき、きつね、しか、うしなど動物と人間のほのぼのとあたたかいものが通い合う民話が多く残っています。

特に、「たぬき石」は今でも主人公の岡野郷太郎さんの家の前に鎮座し、人々の幸せを願いつつ、民話のふるさと「室津」を今に伝えてくれています。

そのようなロマンに満ちあふれた中、室津小学校のお父さん、お母さんたちから「地域にある七鳥居まいりをしよう」との提案があり、先生、家族で秋の楽しい一日を過ごし、子どもたちも地域を知ろうとする心が芽生えはじめました。

平成24年度は地域の民話を紙芝居にし、平成25年度は、地域のことを題材に「室津のふるさとカルタ」を作ることに決めました。カルタづくりのなかから地域を知り、自然、歴史、仕事、文化、食などの素晴らしさ、大切さを感じ、人々との出会いを通じて生き方や行動力に学び、誰もが安心して自分らしく生きられるまちづくりを願い、48名の子どもたちは一人一文字の読み札を考えました。教職員は絵札の原画（線描き）を冬休みの宿題として描き、それを子どもたちが絵の具、色鉛筆、マジックなどで色付けをし、作業していく中で子どもたちと先生方との間に太いきずなが通い、心が一つになれる素晴らしい時間を共有できたことは大きな財産になったと思います。



きつねの多い室津では、ずる賢いきつねにしようちゅう化かされて困りはてていました。そこで餌の少ない寒い時期に子どもたちが『せんぎよ、せんぎよ、のうせんぎよ』と言いながら、きつねの糞に好物のあぶらあげやちくわを持っていくようになりました。

のうせんぎよ 納施行



室津里の白鬚神社近くに、岡野郷太郎さんという人が住んでいました。室津は、昔から、たぬきやら、きつねやらがようけおって、いたずらはするは：：人をだますは：：みんな困っていました。：：郷太郎さんもだまされました。郷太郎さんは、狸を家の前の石にくくりつけ、数々のいたずらをごっぴどく説教し、放してやりました。

このお話に出てくる「たぬき石」は、今でも岡野郷太郎さんの家の前に鎮座し、民話の里「室津」を今に伝えています。



出来上がったカルタ

は、クラスで、そして親子でカルタ大会を楽しみました。また、地域の70歳以上の人たちの会食会のカルタ大会では、昔取った杵柄で子どもの頃に戻り、大きな声で「ハイッ」と声を響かせ、カルタを取る手も「パシッ」と軽やかな音を出し、数十年前にタイムスリップして、どの顔も爽やかに元気いっぱいでした。また、室津集会所に掲示し、地域の人たちも何度も読んでいるうちに、「た」たぬき石いたずらしちゃって石の下、「の」のら猫がたこ干してるのをねらっている、「し」新鮮な魚や貝売る魚市場、「い」石段をハーハー上がると学校だなど、自然と覚えているようです。子どもたちと先生の作った「室津ふるさとカルタ」の宝物を大切にしながら、いろいろな場で活用させてほしいものです。

室津小学校は平成27年度末をもって閉校になります。ふるさとをさらに知り、愛し、助け合い、感謝の心をさらに培い、新しい元気いっぱいの歴史を作られていくことを心から願います。

応援隊：廣岡 ひろ子



天地の物を大切に
社会のお役に立つ経営

受け継がれる自然の恵み
matsumoto マツモト産業株式会社

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市小井123番地

TEL 0799-42-5000 <http://www.matsumoto-group.co.jp>

マテリアル事業部(石材部・セメント部・コンクリート部)・建材部(建材1課・建材2課)

【マテリアル事業部】
■本社営業部
■神戸営業所
■小野営業所
■九州営業所

【建材部】
■建材1課
■建材2課
■神戸営業所

松瀬銅鑄を発見しました

東浦の民話



政争に敗れ淡路島に流された淳仁天皇のあとを追いかけた愛猫「こま」。瀕死の状態で淡路島にたどり着きますが、天皇はすでに亡くなっていました。悲しんだ「こま」は死のうとしましたが「チヨ」に諭され生きる決意をします。その後二匹は子どもにも恵まれ幸せに暮らしましたと

平安時代の初め、政治の権力争いの犠牲に散って、淡路島に遷された、時の帝淳仁天皇がかわいがっていた猫のお話です。
『名前は「こま」という尾の短い虎ジマのオス猫。乱暴者でのけものにされて一人ぼっちだったのです。不憫に思われた天皇が特にかわいがっておられました。「こま」は、ある事件で淡路島に流された天皇の去って行かれた方向を毎日悲しそうに見つめ続けているのです。ある日、繋がっていた紐をかみちぎり、恋しい人の去って行かれた後を追って一目散にかけ出しました。』

苦労を重ねながらぼろぼろになって明石の浦にたどり着きました。淡路島は目の当たりですが、明石海峡が彼の思いを阻みます。水の苦手な猫の身。しかし、白波立つ海に飛び込みました。力も尽き果て、目の前が真っ暗になり溺れかけた時、なめさん(スナメリという小型の鯨)に助けられ、淡路島の海岸にたどり着きました。一匹の猫が手招きをしていました。それは、天皇と共に淡路に流された天皇の母上のかわいがっていた「チヨ」という、「こま」にも優しいメス猫で、天皇の行かれた方向を「チヨ」に聞き、再会の約束をし

ました。天皇のお住いにたどり着いたときは、すでに天皇は亡くなられていました。墓の周りを何日も廻り、泣き続けました。天皇の後を追って食事を絶ち、静かに祈っていた時、遠くで自分の名前を呼ぶめす猫の声、「チヨ」の声でした。「チヨ」は「こま」に死ぬことよりも天皇の心を慰めつつ生きることを勧めるのでした。「こま」は彼女と共に東浦の海岸に戻り、時には天皇の墓に詣で掃除等をしつつ、多くの子供にも恵まれ末長く平和に暮らしました。』
現在の淡路市中浜は、この猫浜からきているといわれています。

「猫浜物語 中浜 稔著」より 詳細は猫美術館まで(☎75-2011) 応援隊: 榮 加代子



仮屋のえべっさん



「伝承活動は老人会の重要な使命である」(元東浦町老人クラブ連合会会長 岡 金衛氏)、「ふるさとを愛することは、ふるさとを知ることから始める」(郷土史家 能綱政雄氏)という先達の想いを受け、平成10年4月に、東浦町老人クラブ連合会では、「むかしばなし ひがしうら」を発行し、東浦町全戸に配布されました。その中から、「仮屋のえべっさん」を紹介します。



「えべっさん、漁がようできますよう、しっかり頼んまっせ」仮屋の漁師の平作は手をたたいて一生懸命えべっさんを拜んどった。ひよいと顔をあげ奥をのぞいて「あれ、えべっさんがおれへん」平作はびっくり仰天声をあげた。中略平作はえべっさんが見えなくなつてからも毎日心配してえべっさんにお参りしていた。或る日いつものとおりえべっさんにお参りしてひよいと奥を見るとえべっさんが二つも見えた。中略本殿を改築して二人のえべっさんを大切に祭りしました。それ以来いつも豊漁が続いて仮屋の町が栄えたそう。

「むかしばなし ひがしうら」(東浦町老人クラブ連合会発行)より

仮屋のえべっさんで親しまれている仮屋事代主神社。毎年9月第3日曜日には、地域繁栄、豊漁祈願の「水かけ祭り」が行われます。漁業の町仮屋ならではの有名な祭礼で、明治初期から続いている伝統的な行事です。お出かけの際にはこの話を是非思い浮かべてください。現在に息づいている民話の魅力を感じることでしょう。応援隊: 岡まさよ

- ・白芝山の絵馬
- ・淡路市市民協働センター

はくしざん

白芝山の絵馬



あれ、絵馬に馬がおらんぞ、たしかよんべ馬がいなさったに、どうなっとるんじゃ・・・



ごしきの民話



鮎原天満宮



青草と綱を書き加えたら馬が出歩かなくなったそや

↑ 淡路文化史料館に保管されている元の絵馬



← 青草を食べている白馬

洲本市五色町鮎原にも動物にまつわる民話が『ごしきの民話』※に掲載されています。

それは鮎原天満宮の拝殿に掲げられている『白芝山の絵馬』に語り伝えられている民話で、「あれ、絵馬に馬がおらんぞ、たしかよんべ馬がいなさったに、どうなっとるんじゃ」という出だしで始まっています。この絵馬は白芝山という絵描きさんが描いたものですが、絵馬から馬がいなくなったと大騒ぎになったのを聞いた白芝山が、青草と綱を描き加えたら馬が出歩かなくなったというお話です。馬は青草が食べたくて毎夜絵馬から抜け出して近くの野原へ散歩に出ていたということです。

180余年前に白芝山が天満宮に奉納した絵馬は老朽

化のため、平成21年に洲本市安乎在住の画家前川和昭氏により復元されました。元の絵馬は洲本市立淡路文化史料館で保管されています。白芝山は宝暦8年(1758)洲本市大野金屋に生まれ、嘉永3年(1850)92歳で亡くなりました。

郷土に伝わる民話は、そこに住む人たちによって長年培われ伝承されてきたもので、ふるさとのよさを後世に残すためにも、これからも語り継いでいきたいものですね。

応援隊: 瀬戸由美子

※濱岡きみ子氏編集 五色町住民福祉課
老人大学淡路学園発行 昭和59年



淡路市市民協働センターのご紹介

淡路市市民協働センターでは、地域創生につながり、地域の課題を解決するために活動している、市民、市民活動団体、NPO等の総合的な支援と男女共同参画の推進を行っています。実例として、認知症の方やその家族を支えている「おひさまカフェ(認知症カフェ)」に対して、活動資金のための助成金申請に関するアドバイス等の支援、地域の農産物で6次産業化に取り組んでいる「仁井おいしいもの部会」には、加工場の発掘、商品開発、協力団体の紹介等の支援、「福島ハーメルン・プロジェクトジョイントチーム」という子どもたちを放射能被ばくから守るために活動している団体には、福島の子もたちを淡路島に招き、保養キャンプを行う事



淡路市市民協働センターイオン淡路店アルクリオ1F

7/7ハートナッシュ・ミーティングの様子

業の資金源となるチャリティー絵本のPRや販売協力等を行っています。この他にも、NPO 法人や一般社団法人設立に関するアドバイスや空き店舗を活用した地域づくりや賑わい創出のためのイベント企画なども提案させていただきます。



淡路市市民協働センターは、地域や市民のために、これから活動を始めたいと考えている人々の相談窓口です。各種リーフレット・チラシなども置いていますので、ぜひお立ち寄りください。

〒656-2132 淡路市志筑新島10番地3 イオン淡路店アルクリオ1F
Tel 0799-70-7143 Fax 0799-70-1460
e-mail:awaji-citykyodo1@maia.eonet.ne.jp
平日 10:00~17:00 日曜日 10:00~18:00
(土・祝日・年末年始を除く)

・松本 英子さん
・イーブン淡路

紙芝居で 地元の昔話や歴史を 子どもたちに伝えたい

松本 英子さん

懐かしく心なごむ昔話。そんな昔話が自分の住む町にもある。「地元
に伝わる昔話を多くの人に知ってほしい」と大型の紙芝居に作り
上げました。南あわじ市の松本英子さん(市70才)。
子育てが終わり、自分の時間ができるようになったら好きなことをやりたい
と思っていた松本さん。更生保護女性会員として活動をし、現在は「市
地区子ども教室」やファミリーサポートくらぶ「ピッピー」のメンバー
として活動をしています。

南あわじ市八木、成相寺の門前にある大きな石。蛇磨岩(じゃずり石)。成相の谷に住む龍女が大雨が降ると水が引かないで困っている話を実弘上人から聞き、龍の姿になって大岩を打砕きました。中門前の川底の「蛇磨岩」は、この伝説を物語る石です。聞いている子どもたちにも分かるようにストーリーを考え、絵は南あわじ市立三原中学校の美術部にお願ひしました。できあがった紙芝居は白地に黒の切り絵です。



おいのきゅうり



再話 松本 英子
画 稲井 芳子

淡路人形芝居

あわじにんぎょうしばい



再話 松本 英子
画 稲井 芳子

また、小井(南あわじ市市小井)につたわるきゅうり加持のお話「おいのきゅうり」、淡路人形芝居の歴史をまとめた「淡路人形芝居」この二本は友達の稲井芳子さん(芦屋市)に絵をお願いしました。南あわじ市は、人形浄瑠璃発祥の地でもあるのです。できあがった紙芝居はどれも分かりやすく、絵もすばらしい。一人でも多くの人に見てもらいたい、聞いてもらいたいと思わせる大型紙芝居です。



手作りの絵本リストは800枚以上!

応援隊が、さらに感動したのは松本さんの手作りの絵本リスト。(左写真)自分が読み聞かせに使った本のタイトル、作者などを挿絵とともに描き、ファイルしたその枚数は800枚以上。一枚一枚に読んだ時のこと、絵を描いた時のことがよみがえるそうです。これからもいろんな活動の中で、絵本や昔話を読み、語り継ぎたいと思う松本さんですが、この活動を引き継いでくれる次の世代のメンバーが出てくれることも期待しています。

応援隊:村上 紀代美・坂本 厚子・川原 雅代

今月の生活創造活動グループ紹介

イーブン淡路

「光陰矢の如し」とか……。昭和53年「婦人生活大学OB会」として誕生し、平成5年「イーブン淡路」と名称を変更し、平成10年には会員の見直しを図り、男性の方にも入会いただき、37年を迎えることができました。「いつでもどこでもだれもが楽しく意見を言える会」として、会員が一丸となって研修を積んでいます。いつ何が起るかわからない現在、その時その時の状況に応じた対応ができるように研鑽を積んでいます。このような時代だからこそ研修を無駄にすることなく、地域に根ざした活動を展開しています。少子高齢化、人口減少の中で、特色ある地域づくり、安全で安心な生活環

境づくりを目指して学習を続けて行きたいと思っています。

現在の活動は、①総会、②島外研修、③研修、親睦会、その他各支部に合った活動を行っています。私達一人ひとりの力は小さいですが、会員相互の連携を密にしながら、さらに40年に向かって小さな輪から大きな輪へと活動の輪を拡げ、時代の波に乗り遅れないよう、大空に向かって羽ばたいていきたいと思っています。

(文責:河野 さかゑ)



★淡路文化会館からののお知らせ（淡路島民俗芸能フェスティバル・淡路日本画セミナー講座作品鑑賞会）

人形浄瑠璃街道推進事業・大鳴門橋開通30周年記念

淡路島民俗芸能フェスティバル

日時：10月4日（日）12:50~17:00（開場12:30）

場所：市民交流センター・ヒバホール

問合せ：淡路島民俗芸能フェスティバル実行委員会事務局（淡路文化会館内）TEL：0799-85-1391

淡路日本画セミナー講座作品鑑賞会

淡路文化会館が行っている「淡路日本画セミナー」の受講生約40名がこれまで3回行われたセミナーでの作品を展示します。多くの皆様のご来場・ご鑑賞をお待ちしています。

◆日時：9月11日（金）～14日（月）9：00～17：00（最終日は15：00まで）

◆場所：淡路市地域総合センター（ふるさとセンター）淡路市多賀197

◆主催：淡路文化会館



淡路島内各地に古くから受け継がれている伝統芸能や郷土芸能、そして、創作芸能をお楽しみください！！人形浄瑠璃、踊り、和太鼓、獅子舞、唄（コーラス）など盛りだくさんです。今回は、徳島県から2団体が特別出演いたします。幼稚園児・小中学生・高校生の次世代を担っていく若い力を感じてください。★★入場無料★★

新しい生活創造活動応援隊のご紹介



さかえ かえこ 榮 加江子さん

よろしくお祈りします！

ポケットあわじは、HPでカラー版を是非ご覧ください。

★兵庫県淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島のお知らせ★

兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ

リサイクルセール・イン淡路出店者募集 淡路ふれあいフェスティバルと同時開催

現在の大量消費・大量廃棄を見直し、資源の有効利用を目指し、リサイクルセールを実施します。賛同頂ける方の出店を募集します。

日時：平成27年11月14、15日（土・日） 午前10時00分から午後4時00分まで 【雨天中止】

場所：淡路ワールドパークONOKORO 淡路市塩田新島8番5号

出店参加資格：グループ又は個人（露天商等は不可） 出店募集数：一日約20店（1人1店舗、晴天時のみ） ※応募者多数の場合は抽選により決定

出店料：1,000円

協力金：売上金の10%を協力願います。

販売品：リサイクル生活用品、手作り品等

※申し込み方法：申し込み用紙に必要事項を記入し、8月19日（水）～9月18日（金）必着で郵送又はFAXしてください。

申し込み、問い合わせ先は下記まで。

リサイクルセール・イン淡路実行委員会事務局（淡路県民局県民交流室 淡路消費生活センター） 〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5 TEL 0799-26-3360 FAX 0799-26-3090

淡路のまち・地域づくり活動を応援する「プラットフォーム淡路島」からののお知らせ

第1回あわじ地域づくりラウンドテーブル 災害対策は「地域のつながり」から

将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震の被害から、地域ぐるみで災害対策に取り組んでいる南あわじ市阿万地域での取り組みや、兵庫県立大学の研究、調査等をもとに「災害に強い地域とはどのようなものか」をみなさんと一緒に考えます。奮ってご参加ください！

- ◎ 日時：平成27年9月25日（金）18:00～20:15
◎ 会場：国立淡路青少年交流の家 研修室
◎ 定員：90名 ◎ 参加費：無料

【プログラム】

- (1) 兵庫県立大学による阿万地域の取り組みについて 兵庫県立大学防災教育研究センター 森永速男教授 同大学生徒 環境人間学部 井上方義さん
(2) パネルディスカッション 「地域でできること・自分でできること」 阿万地区自治会長、消防団長、小学校長、学生、防災士会の皆さんによる発表

(3) まとめ

【申し込み・問い合わせ先】

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内 TEL/0799-26-2043 FAX/0799-26-3090 メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp



場 所	イベント	日時・会場他	料金・問合せ先他
淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	平成27年度「花づくりリーダー育成事業」申請団体募集 ※島内の花づくりグループ等が実施する花づくりのレベルアップと後進育成の役割を担うリーダー育成事業に対して助成。	募集：8/3(月)～随時受付 (採択額が予算額に達した時点で終了) 実施対象期間：9/1(火)～2016/2/29(月)	申請書は下記HPよりダウンロード可 http://www.kuniumi.or.jp/
	淡路花祭2015秋 ※彩りベジタブルガーデンやクイズラリーを実施。オープニングでは玉村豊男氏(エッセイスト・画家)による講演会やエディブルフラワー(食用花)試食会を開催	9/19(土)～11/8(日) 洲本市民広場ほか淡路島全島	鑑賞無料(洲本市民広場) 詳しくは下記「淡路花祭」HPへ http://www.awajihanamatsuri.com
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	アウトドア・クッキング2015 淡路島を味わおう！ エコ！deアウトドアクッキング	9/27(日) 10:00～15:00 ※事前申込み バーベキュー広場	大人(15歳以上)800円、子ども500円(3歳未満無料) ※別途駐車料金が必要
	秋のカーニバル2015	9/19(土)～11月3日(火・祝) 9:30～17:00(開園時間) ※イベントにより異なる ビジター棟ほか	イベントにより異なる ※別途入園料が必要
	秋の公園写真コンテスト テーマ：秋のカーニバル期間中の国営明石海峡公園の美しい花や心む情景を写真に表現したもの	9/19(土)～11/11(水)必着	応募方法など詳細は管理センターまで 明石海峡公園管理センター TEL：0799-72-2000 FAX：0799-72-2100
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201	キャプテンクックの庭～南の島の花園～	7/18(土)～9/27(日) 10:00～18:00(最終入館17:30)	入館料：大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
	淡路夢舞台 花の文化祭～フラダンス、ハワイダンス、タヒチアンダンス！、ワークショップ！ハワイグッズも充実！～	9/19(土)～9/23(水・祝) 10:00～18:00(最終入館17:30)	同上 ※屋外の淡路夢舞台エリア会場は無料
兵庫県立 淡路景観園芸学校 〒656-1726 淡路市野島常盤954-2 TEL 0799-82-3455 FAX 0799-82-3124	花と緑のまちづくりを学ぼう！生涯学習講座「平成27年度まちづくりが-テナー-本科1-1(後期)」受講生募集 ※植物の栽培・維持管理、花と緑のまちづくりの基礎的知識・技術を学ぶ。	期間：4～9月(8月を除く)のうち月3日 募集人員：40人 申込締切：9/11(金)必着	費用：15,700円(実習材料費など別途) 所定の申込書を同校へFAX等で(応募多数時は抽選)
淡路人形座 「9月公演」 『阿波十』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1 地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072 awaji-pt@minos.ocn.ne.jp	【通常公演】 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 9/1(火)～22(火) 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 ※8(火)、17(木)、18(金)は「人形解説」「戎舞」 大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円 9/23(水)～29(火) 大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円 10:00、11:00 「人形解説」「生写顔日記 大井川の段」 13:00、14:00、15:00 「ワンコインレクチャー」 大人500円 中高生400円 小学生300円 幼児100円 ※25(金)は、1日「ワンコインレクチャー」 大人500円 中高生400円 小学生300円 幼児100円 ※上演は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。		
	【今月のトピックス】 9/12(土) 第2回阿波路会 竹本友和嘉・鶴澤友勇 女流義太夫公演 開場17:30 開演18:00 大人 1,000円(学生無料) ※未就学児の入場はできません。 「正井良徳(公益財団法人淡路人形協会理事長)による演目解説」 「竹本友和嘉・鶴澤友勇による素浄瑠璃『絵本太功記 尼ヶ崎の段』」 【休館日】 9/2(水)、5(土)臨時休館、9(水)、16(水)、24(木)振替休館、30(水)		

場 所	イベント	日時・会場	料金等
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	2014 すもとの夕日 フォトコンテスト 応募作品展	~9/10(木) 9:00~21:00 (火曜休館) ※エントランス	鑑賞無料 【問】洲本市五色総合事務 所窓口サービス課 0799-33-0160
	「原爆と人間」 写真パネル展	9/11(金)~18(金) 9:00~21:00(火曜休館) 初日は午後より、最終日 は12:00まで ※エントランス	同上 【問】原水爆禁止淡路地区 協議会
	平成27年度 交通安全ポスター展 ※洲本市小中学生の交通安全ポス ター作品展	9/19(土)~30(水) 9:00~21:00(火曜休館) ※エントランス	同上 【問】洲本市人権推進課 0799-22-2580
	淡味篆会 2015 ※書と篆刻愛好家のグループによ る展示会	9/25(金)~27(日) 10:00~18:00(最終日は 17:00まで) ※会議室1A	同上 【問】南岳泉雲(淡味篆会) 080-3857-1622
市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	第3回明兆顕彰会作品展 ※明兆が元祖である水墨画を中心 に絵手紙等も展示します。	9/1(火)~29(火) ※アールギャラリー 9:00~21:00(最終日は 16:00まで) 月曜日休館	観覧無料 【問】市民交流センター 0799-24-4450 http://www.sumoto-ccc.info
南あわじ市 滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成27年度 館蔵品展 I 黄檗宗祖隠元禅師一代記	~9月下旬 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜日休館(ただし、 9/21は開館)	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロカード」 「のびのびパスポート」 利用可 【問】玉青館 0799-36-2314

第4回淡路島くにうみ講座 地名の由来 歴史と文化の淡路島

淡路島の地名の由来から島の歴史を紐解き、島の魅力についてお話いただきます。

無 料

- ◆講師：武田 信一氏（淡路地方史研究会会長）
- ◆日時：10月17日（土） 14:00~15:30
（開場：13:30）
- ◆場所：洲本市文化体育館（洲本市塩屋1-1-17）
- ◆定員：100名 ※事前申込必要。定員になり次第締切。
 <お問い合わせ>（一財）淡路島くにうみ協会事業課
 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521
 Eメール awajishima@kuniumi.or.jp

応援隊に参加して2回目の編集会議でした。隊員の方々の情報収集や資料を元に、和やかに、時々脱線しながらも会議は進行していきました。和気藹々とした雰囲気だからこそ、楽しい紙面が作られるのだと感じました。淡路島に生まれ育ちましたが、私自身民話に触れることが少なく、たくさんの民話があるのを知り、子供から孫へと語り継いでいきたいと思いました。

編集だより

（応援隊：小原町子）

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版で掲載しています。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

（発行）淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

